

釜山 ポートガイド

Busan Port Guide



釜山

観光情報は、こちら!

釜山観光旅行ガイド「プサンナビ」
www.pusannavi.com

船舶代理店

Hyopsung Shipping Corp.
82-51-463-1451



釜山市街地

韓国随一の港町にしてソウルに次ぐ第二の都市、釜山。その歩みは日本とは切っても切れない、深いつながりがあります。

富山浦と呼ばれた中世には日本との交易で栄え、日本人も数多く居住していました。

江戸時代になると、現在の龍頭山公園の一带には「倭館」と呼ばれる日本人居留地が置かれ、ここを中心に日本と朝鮮王朝の外交や交易が行われていました。

明治時代、日本の新政府は朝鮮王朝に釜山を開港させ、以後、現在の釜山の基礎が築かれていきました。36年にわたる日本の植民統治を経て、太平洋戦争後に韓国は独立しますが、それもつかの間、朝鮮戦争が起こります。北朝鮮によって首都のソウルが陥落し、多くの避難民が逃れてきた釜山には臨時首都が置かれたこともあります。

こうした苦難の歴史をたどって、釜山はいまサッカーのワールドカップやAPECの会場にも選ばれる国

際都市に生まれ変わりました。

また、下関や福岡、大阪とのフェリー航路も開設され、日本人観光客が多く訪れています。日本語の看板を目にすることも、日本語を耳にすることも珍しくなく、外国にいることを忘れてしまいそうになることもある釜山。こうした雰囲気には、日本との長く深いつながりの歴史が背景にあるからなのかもしれません。

観光の中心は釜山タワーがそびえ立つ龍頭山公園、活気あふれるチャガルチ市場や国際市場のある南浦洞（ナンポドン）。港からのアクセスも良く、このエリアだけでも釜山の魅力を十分感じられます。

また、大型デパートが軒を並べる西面（ソミョン）ではショッピングを、高級ホテルが林立する海雲台（ヘウンデ）ビーチではリゾートとしての釜山の表情を見ることができます。

そして忘れてならないのは韓国料理。レストランはもちろんですが、繁華街に集まる屋台で味わうB級グルメも楽しみです。

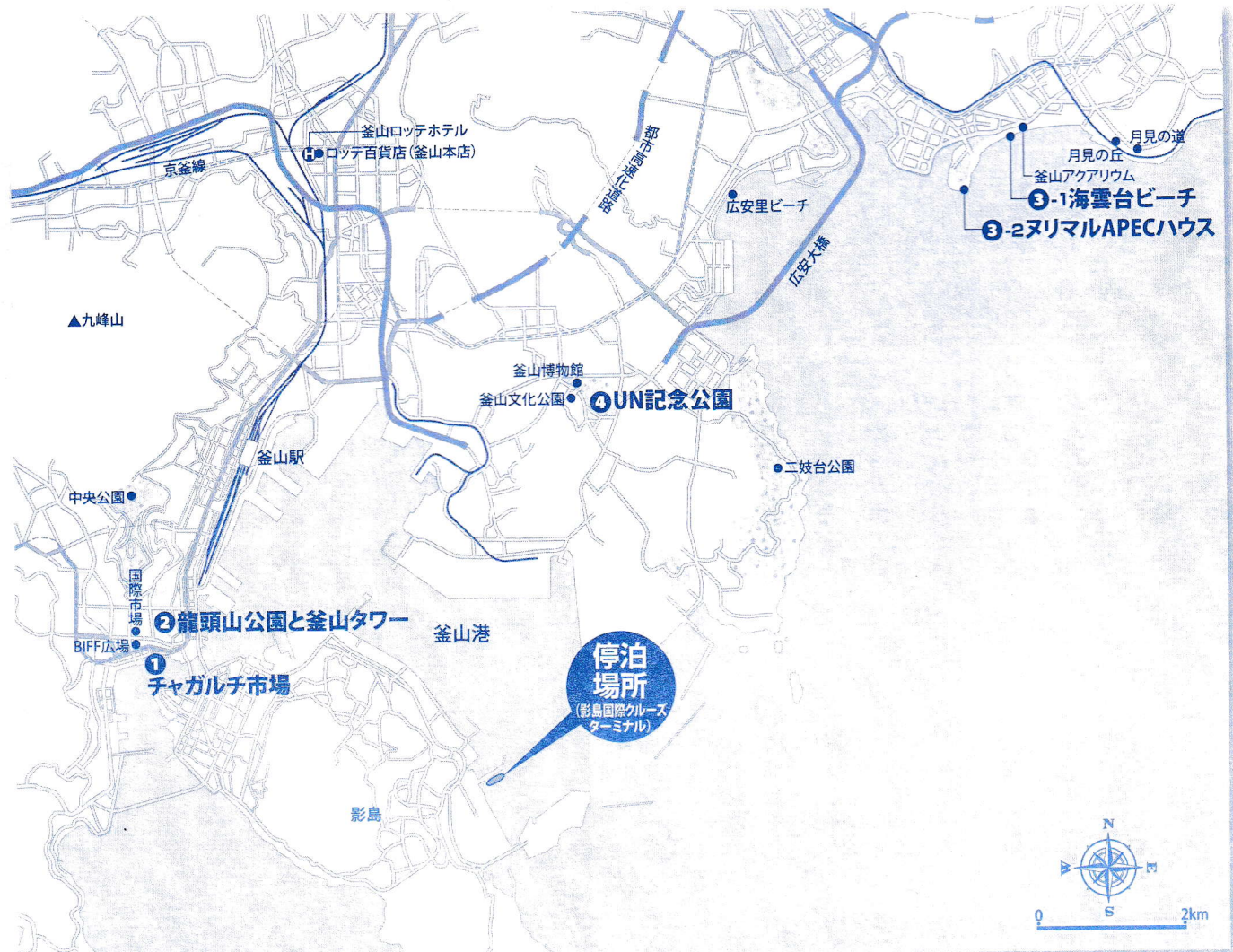
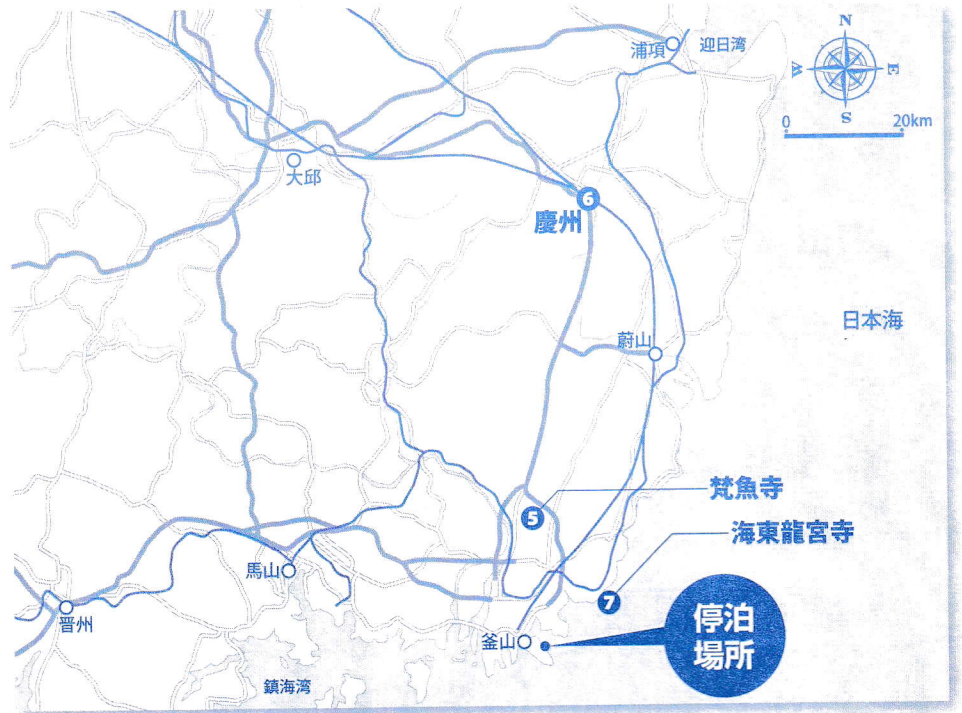
Busan

釜山

街歩きマップ

釜山の見どころ

- 1 チャガルチ市場
- 2 龍頭山公園と釜山タワー
- 3 海雲台ビーチ/ヌリマルAPECハウス
- 4 UN記念公園
- 5 梵魚寺
- 6 慶州
- 7 海東龍宮寺



※上記の地図は簡略化したものです。目安としてご使用ください。



© 韓国観光公社

© 韓国観光公社

① チャガルチ市場

釜山に来たなら、ぜひ立ち寄りたい海鮮市場。チャガルチアジメ(チャガルチ市場で働くおばさんたち)の威勢のよい掛け声が飛び交い、韓国のパワーがあふれています。新鮮な魚介類がずらりと並び、見ているだけでも楽しいですが、ここはやはり味わってみましょう。1階で買った魚を2階の食堂で刺身としていただけます。2階には乾き物の店も並び、お土産にはもってこい。ちなみに「チャガルチ」とは「砂利、小石」という意味。朝鮮戦争時、海外に脱出していた海外同胞や避難民などが食糧不足を少しでもしのぎ、南浦洞にあった砂利畑で海産物を取引したことがそのルーツだそうです。

② 龍頭山公園と釜山タワー

釜山のシンボルともいえる釜山タワーがそびえる公園は、観光客だけでなく地元の人たちの憩いの場としてにぎわっています。タワーの展望階からは、釜山市内を俯瞰することができます。公園内には豊臣秀吉の朝鮮出兵(1592~98年)の際に、日本軍を撃退した李舜臣(イ・スンシン)将軍の銅像が、日本の方角をにらむように建

てられています。また、江戸時代にはこの地に500人以上の日本人が暮らした倭館があり、日本人にも縁の深い土地です。南浦洞から公園入り口まではエスカレーターがあるので、ラクラク登れます。

③ 海雲台ビーチ／ヌリマルAPECハウス

砂浜が2キロ近く続く弓なりのビーチで、韓国八景にも数えられる景勝地です。しかし、砂浜沿いに有名な高級ホテルが軒を連ねる高級リゾート地としての方が、国内外に知られています。2005年に開催されたAPEC首脳会議の舞台となったヌリマルAPECハウスは「釜山ウェスティン朝鮮ホテル」のすぐ隣の冬椿島にあります。ここからは海雲台ビーチはもちろん、釜山の新名所ともいわれる「広安大橋」も見ることができます。また、ここから海雲台ビーチの端まで続く海岸散歩道沿いには美しい景色が続き、ウォーキングには最高のロケーションです。

④ UN記念公園

釜山には世界で唯一の国連記念墓地、UN記念公園があります。ここには朝鮮戦

争(1950~53年)に国連軍として参加した韓国の兵士をはじめ世界21カ国の戦士が祀られています。礼拝堂や資料館の周辺には鮮やかな草花が植えられており、すべての墓石の隣にはバラなど美しい花が植えられているので、墓地というよりも庭園を歩いているような気分になります。

すぐそばには釜山博物館もあり、ここでは釜山の歴史を展示資料やジオラマなどで学ぶことができます。釜山と日本との交流に関する展示室もあり、一見の価値あります。

⑤ 梵魚寺

釜山の北郊にそびえる金井山(標高800メートル)の中腹にある、韓国5大古刹の一つ。新羅の文武王が治めていた678年に建てられたといわれています。しかし、創建当時のもので残っているのは、三層石塔という石塔のみ。というのも、1592年の豊臣秀吉の朝鮮出兵の時にそのほとんどが焼失し、現在の建物は1614年に再建されたものだからです。それでも四本の柱からなる一柱門や、本尊仏が祀られている大雄伝などは、釜山地域に現存する最高の木造建築といわれるほど、見事な仏教芸術を今に伝えています。

足を延ばして.....



⑥ 慶州

古代王朝・新羅の古都、慶州。古墳公園をはじめ街全体が「屋根のない博物館」と呼ばれ、郊外にある仏国寺などともにユネスコの世界文化遺産に指定されています。



⑦ 海東龍宮寺

釜山の北東部にある海辺の町、機張(キジャン)。その海岸沿いの絶壁に建っているのが海東龍宮寺です。美しく神秘的な本堂まで108の階段を上りますが、ここからの景色は最高。

港までの所要時間

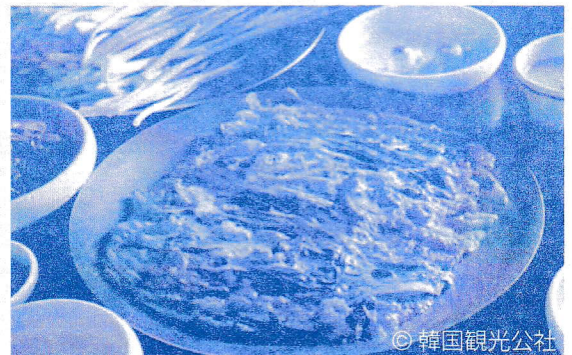
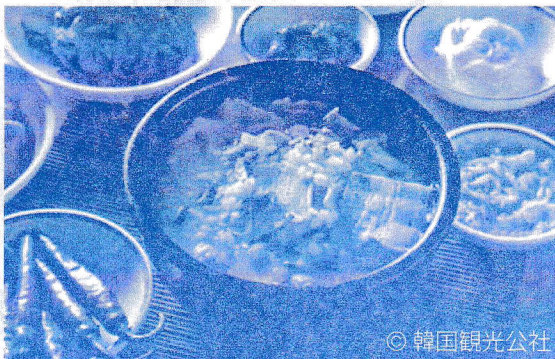
<影島国際クルーズターミナル>	■ タクシー利用：約30分
国鉄釜山駅より	■ タクシー利用：約30分
地下鉄「南浦」駅より	■ バス利用：約30分
釜山・金海国際空港より	■ タクシー利用：約1時間
<釜山国際クルーズターミナル>	■ 徒歩10分
国鉄釜山駅より	■ 徒歩10分
地下鉄「釜山駅」より	■ 徒歩15分
釜山・金海国際空港より	■ タクシー利用：約30分

韓国随一の港町ということもあって、新鮮な魚介類ばかりが注目されがちな釜山。でも、それだけじゃありません！ チヂミや冷麺、クッパッなど韓国料理の定番も釜山名物なのです。また、屋台ではトッポキやホットクといった庶民の味も満喫できます。



BIFF 広場、国際市場の屋台で B級グルメ

南浦洞にある BIFF 広場の屋台でまず試してみたいのがホットク（韓国風ホットケーキ）。人気のある屋台にはズラ〜と長蛇の列ができるほど。その他、トッポキ（餅の煮込み）もオススメだ。しかし BIFF 広場の屋台と言えば、いやでも目に入るのがイカの乾物。ここの名物と言っても過言ではないので、一度チャレンジしてみましょう。



東萊パジョン

釜山の郷土料理といえば「東萊（トンネ）パジョン」。パジョンって耳慣れないなと思った人も、チヂミ（韓国風オムレツ）と聞けば「ああ」と言う人も多いはず。でもただのチヂミじゃありません。そのあまりのおいしさに李氏朝鮮時代には、釜山から宮廷に献上された最高品のひとつでした。いまその味を継承するお店は「東萊ハルメパジョン」だけだそうです。

テジクッパッ

釜山とその近辺でしか味わえない、そして釜山っ子のソウルフードと言えばテジクッパッ。実はもともと朝鮮北部で食べられていた料理が、朝鮮戦争で北から避難してきた人たちによって伝えられた豚肉料理なのです。煮豚のスープにご飯が入った、いわば豚骨雑炊のようなもの。栄養満点で、一度食べたら病みつきになること間違いなしです。